



平成 30 年 8 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証第一部)
問 合 せ 先
役 職 執行役員
氏 名 小島 修一
電 話 03-3264-3148

当社子会社による英国 Elpis Biomed 社との iPS 細胞作製技術に関するライセンス契約締結のお知らせ

当社の 100%子会社である株式会社 ID ファーマ (以下、「ID ファーマ」という) は、同社が所有する CytoTune®-iPS (※1) を用いて英国 Elpis Biomed Limited 社 (以下、「Elpis Biomed」という) が iPS 細胞 (※2) を作製し、その iPS 細胞由来の分化細胞を研究用として供給・販売すること等を許諾する契約を締結したことを下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 契約の概要

ID ファーマは Elpis Biomed に対して、同社が CytoTune®-iPS の技術を用いて iPS 細胞を作製すること、それにより得られた iPS 細胞を分化させること、それらにより得られた分化細胞を研究用として販売することについて、全世界を対象とする非独占的な権利を許諾しました。これにより ID ファーマは Elpis Biomed から契約一時金とロイヤリティを受け取ります。

2. 契約の意義

ID ファーマの iPS 細胞作製技術は細胞の染色体を傷つけることなく、かつ効率よく iPS 細胞が作製できるため、様々な疾患の患者様由来の血液や組織から、iPS 細胞および多種多様の分化細胞を作製することに最適であると考えられています。

ID ファーマは、本契約のように CytoTune®-iPS を活用した iPS 細胞等の作製とその利用を許諾する契約の締結を推進しており、そのような取り組みにより基盤技術であるセンダイウイルスベクターを用いた新たな事業機会を創出できるものと考えております。

3. 技術実施許諾先について

技術実施許諾先の概要は次のとおりです。

会社名	Elpis Biomed Limited
本社所在地	University of Cambridge Biomedical Innovation Hub Clifford Allbutt Building Cambridge Biomedical Campus, Hills Road, Cambridge, United Kingdom
ウェブサイト	https://elpis.ltd/

Elpis Biomed は、英国ケンブリッジ大学のウェルカムトラスト MRC ケンブリッジ幹細胞研究所からスピンオフしたバイオ企業で、同研究所で確立された iPS 細胞から分化細胞を作製する技術を事業化するために設立されました。同社は、独自の技術を用いて効率よく分化細胞等を作製することで、創薬や細胞治療の実用化促進に貢献しています。

4. 業績に与える影響

本契約締結による平成31年3月期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の業績への影響は軽微と見込んでおります。また、当期の業績予想に変更はありませんが、変更が生じる場合は、速やかにお知らせいたします。なお、相手先との契約に基づき、契約一時金等の詳細に関する開示は控えさせていただきます。

※1. iPS細胞作製キット CytoTune®-iPS

CytoTune®-iPS は、京都大学の山中伸弥教授の iPS 細胞作製技術と、ID ファーマのセンダイウイルスベクター技術を融合させて開発した iPS 細胞誘導キットであり、本キットを用いることにより、一回のベクターの使用で線維芽細胞などの体細胞から iPS 細胞を効率よく誘導することができます。特にヒトに大きな苦痛を与えずに採取できる末梢血・血液細胞からの効率的な誘導が可能であり、他の方法と比べて優れた性能を有しています。さらに本キットを用いて作製された iPS 細胞は、元の細胞の染色体上の遺伝子配列を無傷にそのまま維持しており、また iPS 細胞誘導に用いたベクターが細胞から素早く消失されるよう改良されているため、国内外の研究者から高い評価を受けております。

※2. iPS細胞

induced pluripotent stem cell (人工多能性幹細胞)のことであり、体細胞に特定の遺伝子を導入することにより樹立される、ヒト等のあらゆる組織、細胞に分化する能力を持つ幹細胞のことです。

以 上